

本吉跨道橋 本吉響高校 美術部 横断幕制作

【気仙沼復興を象徴する光景をつたえたい!!】

平成30年10月10日（水）

宮城県気仙沼市本吉町の本吉跨道橋現場にて、宮城県本吉響高校 美術部の皆さんを放課後に現場へ招待いたしました。

学生が制作してくれたモザイクアート横断幕のお披露目式をおこないました。



写真1 石塚監督官より事業概要説明

この横断幕は美術部2、3年生の皆さんで、気仙沼の風景をモザイク画で描こうと考案。

横断幕の大きさは横8m×縦1m「気仙沼の魅力をつたえたい!!」「気仙沼の象徴する光景は？」

市内のさまざまな場所を歩いて、安波山から内湾や大島を望む風景をモチーフに決定したそうです。

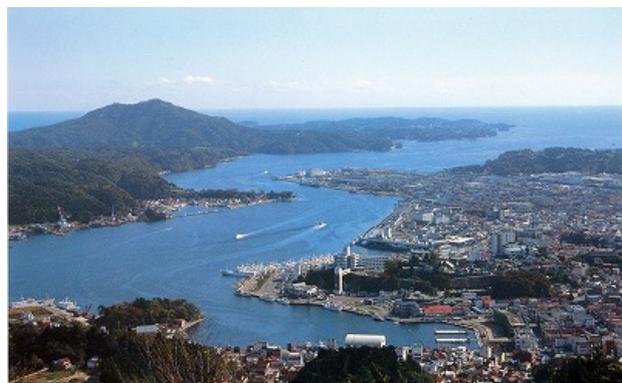


写真2 風景イメージ

制作にあたっては、まず縮小版モザイク画を制作。その後、実際の横断幕制作に取り掛かりました。こんな大きな作品に取り組むのは初めの経験。

夏休みの大切な思い出になってくれたのではないのでしょうか。



写真3 制作状況

完成した横断幕は防水処理のために掲げる事前にお預かりしました。高校へ出向いて、学生の皆さんから現場所長へ、横断幕受け取り式をおこないました。



写真4 横断幕受け取り式

当日の横断幕お披露目式の後には、現場事務所に於て本橋のVR（仮想現実）体験会を開催。

建設業の最新技術を体験した女子学生からは「かわいい」と想定外の発言!!! 「将来CGの業界で働いてみたい」などの言葉も聞きました。



写真6 VR体験会

国道45号を跨ぐ本橋は、送り出し架設工法にて施工。橋桁側面に掲げた横断幕は、架設施工中に気仙沼方面に向かう下り車線から見る事ができます。架設完了後は学生へ渡し、学校で掲示してもらえればと考えています。



写真7 お披露目式 記念撮影（モザイク画は目を細めて見てください）

気仙沼の魅力伝えたい

響高 美術部 本吉跨道橋へ横断幕

気仙沼市本吉町津谷長根地内で架設作業が進められている、三陸道の仮称・本吉跨道橋の側面に、本吉響高校の生徒が制作したモザイクアートの横断幕が掲げられた。10日にはお露目式が作業現場で行われ、「気仙沼の魅力を伝えるよ」と願いを込めた横断幕が目見えた。架設作業期間中、国道を通行する際に見ることができ

横断幕は、縦14・横8メートルの大きさで、同校美術部の2、3年生が夏休みに制作した。「気仙沼を象徴する光景を」と、市内のさまざまな場所を歩いて候補地を選び、安波山から内湾や大島を望む風景をモチーフにした。設置は、工事を担う瀧上工業(本社・愛知県)の社会貢献事業の一環。この日、同社か

宮城県本吉響高等学校 美術部 みんなの作品

響高校の生徒が制作したモザイクアート

で、今後11月末まで夜間を中心に進められる。横断幕は日中、気仙沼方面に向かう下り車線から見ることができ、橋げたの設置が終われば取り外されるという。

同校美術部の芳賀有紗さん(2年)は「気仙沼の復興を象徴する光景。魅力を伝えるとともに、絵と実際の光景を見比べてもらい、

グローバルな視点で

県北地方 町議会 南三陸会場に議員研修

県北地方町議会議員研修会が10日、南三陸ホテル親洋で開かれ、NPO法人ユーラシア研究所理事長で評論家の吹浦忠正さんが、国際情勢などを踏まえながら今後の日本社会について展望した。

「国際情勢と今後の日本の行方」と題して講演。吹浦さんは先日「自民党総裁選に勝利した安倍晋三総理について」

政界で今後注目される人物として、自民党の加藤勝信総務会長を挙げ、「選挙には弱い」が頭がさえており、『身体検査』も問題ない。期待して良い人で、この人に注目してニュースを見ていくと面白いかもしれない」と持論を展開。若手の注目株では小泉進次郎



氏を「自民党の新しい星になる。あまり早く注目されたため、ブが参加

美しさを感じてほしい」と話した。同社からは、お礼となっている。



響高校の生徒が制作したモザイクアート

ツコ 津 ②近藤月(同) ③乃(同) 三浦彩奈(歌
狩野結菜(同) 津)
◇個人賞▽最優秀賞
▽中学生▽小学生低学
年▽志津川・歌津③
川▽敢闘賞▽阿部琴一
歌津▽小学生高学年一
般▽歌津

で、今後11月末まで夜間を中心に進められる。横断幕は日中、気仙沼方面に向かう下り車線から見ることができ、橋げたの設置が終われば取り外されるという。

美しさを感じてほしい」と話した。同社からは、お礼となっている。

氏を「自民党の新しい星になる。あまり早く注目されたため、ブが参加

「気仙沼」阿部大夢・野寺盛
菅原崇文組(志津川) 上原平
◇団体▽志津川② 渚華
気山召Ⅱ以上員大会 与野

スポーツの結果
ボウリング

気山召Ⅱ以上員大会 与野

ボウリング